

議題 1

大野市の取組について

～2050ゼロカーボンシティを目指して～

職員の出張時における越美北線等利用

【目的】 公共交通機関の利用促進 + 運輸部門のCO2削減

【概要】 出張時に、福井一大野間のJR又はバスの切符を配布。

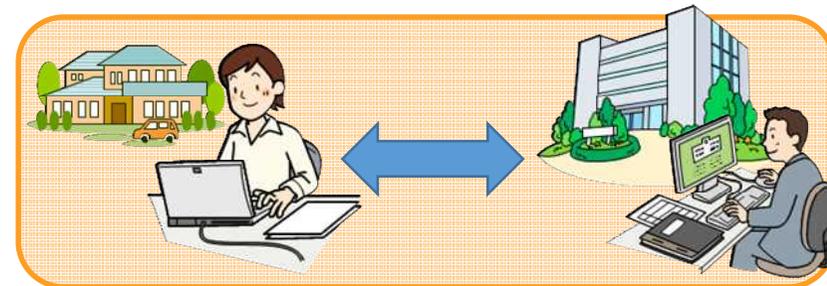
R4年度からは庁内アプリを活用し、申請業務を効率化・簡素化。
公共交通利用によるCO2削減量を見える化。



電子申請・リモート窓口の推進 (R3~)

【目的】 業務の効率化・利便性の向上 + 運輸部門のCO2削減

【概要】 電子申請やリモート窓口の活用を進めることで、遠方から市役所に来庁することなく、**自宅や近くの公民館で相談や申請等の手続**を行えるようになり、市民サービスの向上と、自家用車の利用によるCO2の排出削減を図る。



健幸福社部の取組



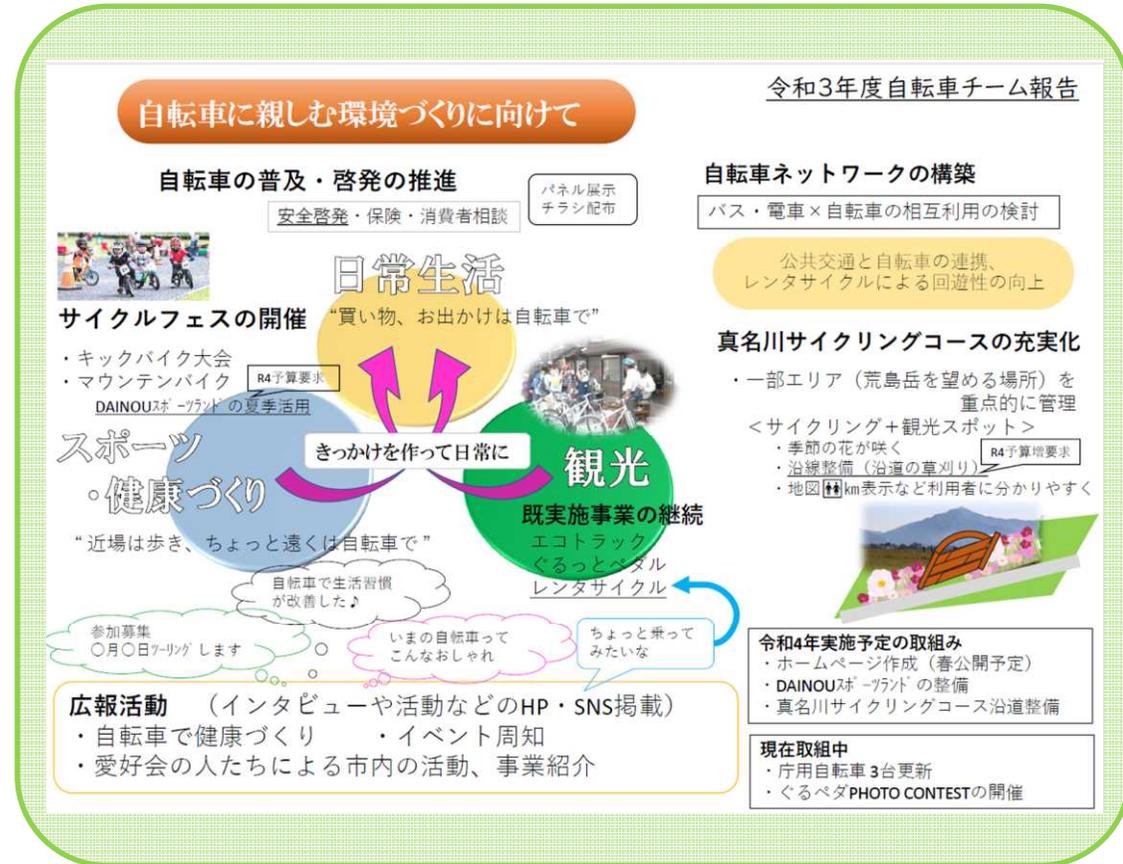
大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

■ 自転車を活用したまちづくり (R3~)

【目的】 自転車を活用した健康増進と観光振興 + 運輸部門のCO2削減

【概要】 サイクリング教室等を通じて、自転車に乗る機会を提供することで、**近距離での自転車利用を促進**。

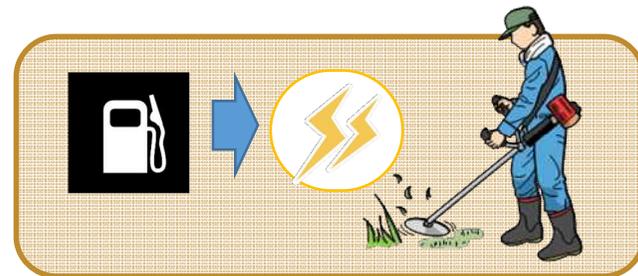
関係課で**プロジェクトチームを結成**し、自転車利用の促進につながる**事業等を検討**。
各課役割分担に基づき、それぞれで事業を展開。



■ クリーン農業スタート事業補助 (R4~)

【目的】 農機の電化 + 産業部門 (農業) のCO2削減

【概要】 エンジン式草刈り機から**バッテリー
充電式草刈り機**への買い換えを支援



■ 生分解性マルチ普及促進事業 (R3~)

【目的】 作業の効率化 + 廃棄物部門のCO2削減 (プラスチックごみ)

【概要】 **サトイモ栽培作業の省力化**による栽培面積の維持・拡大と、**環境負荷の軽減**につなげるため、生分解性マルチの購入費の一部を補助

人口減少、高齢化を
見据えた
農作業の省力化

同時解決!!

×

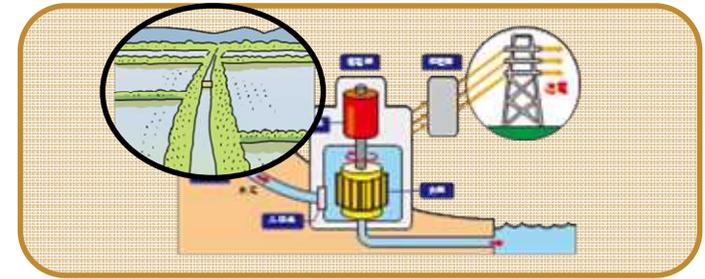
脱プラスチック



ゼロカーボン推進事業貸付金事業 (R4)

【目的】 土地改良区が実施する脱炭素取組の支援
＋再生可能エネルギーの創出 (未利用資源を活用した小水力発電)

【概要】 大野東部土地改良区が実施する農業用水を活用した**小水力発電所建設**に係る費用の一部に対して資金を貸付。



県産材活用事業補助 (R4～)

【目的】 木材の利用促進 ＋森林吸収源対策

【概要】 《県産材活用事業補助》
多くの市民が利用する店舗やオフィスなど
PR効果の高い施設の県産材を使用した建築に対して支援。

《地域産材利用開発事業》
市・県産材などの地域産材を活用した
商品開発を支援



ファミリーリゾート休養施設木質バイオマスボイラー導入事業 (R3~R5)

【目的】 老朽化した機器の更新 + 再生可能エネルギーの熱利用 (木質バイオマス)

【概要】 トロン温浴施設うらら館に老朽化した重油ボイラーを**木質バイオマスボイラーに更新**する。

CO₂の削減効果 (うらら館)
重油⇒木質バイオマス

約▲470t-CO₂/年



くらし環境部の取組

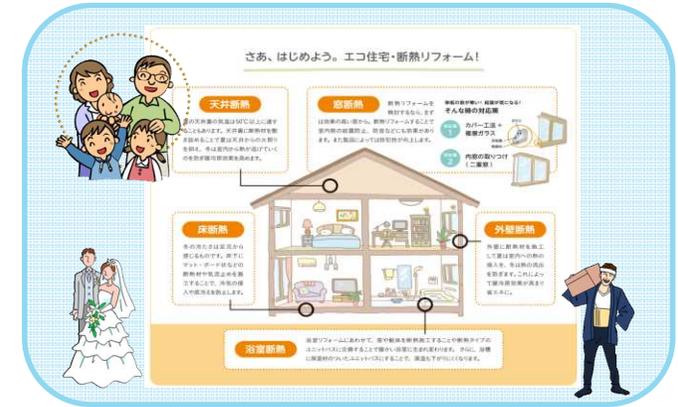


大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

暮らし住まいづくり支援事業

【目的】 移住・定住促進、空き家の有効活用
＋民生家庭部門のCO2削減

【概要】 **中古住宅**を購入・リフォームされる方、所有する**空き家**を賃貸しようとされる方、三世代以上で同居される方の住まいづくりを支援。
R4から省エネリフォームを要件化。



交通分野におけるCO2削減に向けた取組強化（R4）

【目的】 公共交通の利用促進 ＋運輸部門のCO2削減

【概要】 職員の公共交通の利用促進と交通分野におけるCO2削減を図るため、試験的に「**カーセーブ運動（毎週金曜日）**」や福井一大野間通勤に係る公共交通利用時の**勤務時間割振り変更**を実施。

【取組強化期間】 R4. 7. 11-9. 30

福井市在住の職員が、公共交通機関を利用して通勤する場合の勤務時間割振り変更の例

通勤（京福バス）			勤務時間の 変更例	帰宅
福井駅 出発時間	大野六間 到着時間	大野市役所 到着時間		
9:08	10:04	10:20	10:30～ 19:15	JR越美北線 20:40

公共施設太陽光発電等導入調査事業 (R4)

【目的】 + 公共施設の脱炭素化、創エネ (太陽光)

【概要】 公共施設 (約30施設) において、**太陽光発電設備**の簡易的な**導入可能性**調査を実施
モデル的な5施設を抽出し、より**詳細な導入可能性**調査を実施。特に**積雪対応**について検証。



ゼロカーボン推進事業 (R3~)

【目的】 + 脱炭素な行動への変容、脱炭素人材の育成

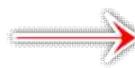
【概要】 楽しみや遊びを通じた**気軽に学ぶ普及啓発**。
設備老朽化・多量CO2排出施設を優先に、
公共施設の**省エネ診断**を実施。



楽しい!
おもしろい!



エ コ

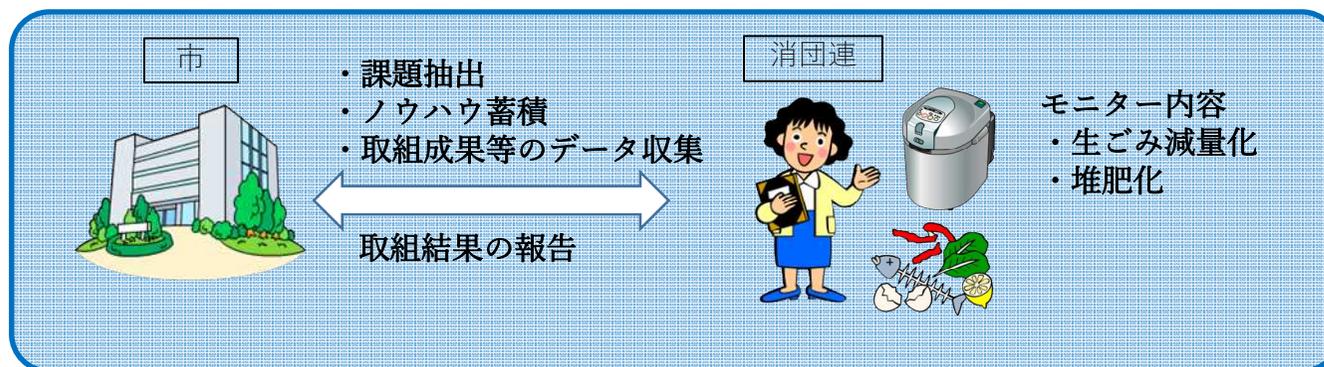


行動変容

消費者団体における生ごみ減量化の推進

【目的】 家庭における生ごみの減量 + 廃棄物部門のCO2削減

【概要】 **大野市消費者グループ連絡協議会**では、市から受託し、**家庭用生ごみ処理機**を用いて、家庭でできる**生ごみの減量化や堆肥化**について実証実験を実施。減量化できた量をモニタリングするとともに、取組のノウハウや堆肥の活用例などの**取組成果を検証**。また、家庭での分別等の**課題の抽出**を行う。



■ 小学校施設営繕事業 (小学校ZEB化調査等) (R4)

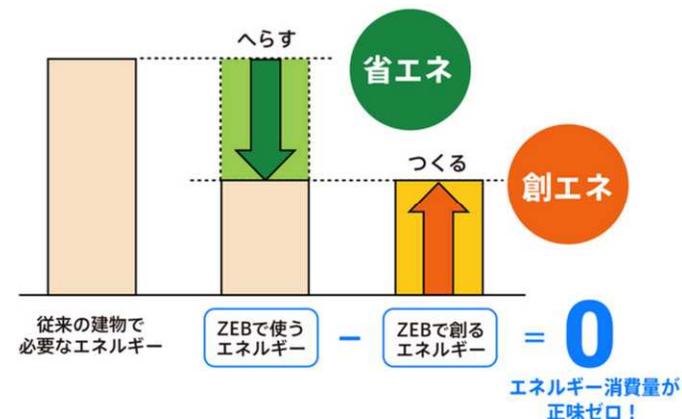
【目的】 設備更新、学習環境の快適化 + 学校施設の脱炭素化

【概要】 **有終西小学校**において、**大規模改修に向けた空調設備及びZEB化可能性調査**を行い、施設の省エネルギー化を推進する。

1. ZEBとは?

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができます。



出典：環境省HP